

平成 26 年 7 月 27 日 主日礼拝

礼拝開始: 午前 11 時

音楽ミサ (ピアノコンサート)

司会と祈り : 倉知 契牧師

奏 楽 : 米田 香姉

さんび : 新聖歌 505 「主我を愛す」 1. 2. 節 + 英語
主の祈り

聖 書 : ヨハネの第一の手紙 3 章 16~18 節 (P.379)

メッセージ : 「真の愛とファンタジー」 倉知 契牧師

お 祈 り

ピアノコンサート : 川添由梨香

賛美と献金 : 新聖歌 233 「驚くばかりの」

頌 栄 : ハレルヤ・アーメン (新聖歌233のまま)

祝 禱

報 告

【瀬戸ニュース】

- ◇ 音楽ミサ・ピアノコンサートに心から歓迎いたします。
- ◇ 宜しければ昼食&Tea Timeをお楽しみください(200円)
- ◇ 毎週日曜の11時の礼拝は、どなたでも参加できます。
- ◇ 8/9(土)1時半~ジョイキッズ・サマー「アイス祭り」無料です。
- ◇ 8/24(日)11時 オープン礼拝と持ち寄り昼食会。自慢の手料理を!
- ◇ 9/14(日)ソプラノコンサートby 西由起子(音楽ミサ)をお楽しみに。
- ◇ 祈禱会 木曜10時半/土曜掃除10時半/祈禱会11時15分
- ◇ 祝大 Aコース 使徒行伝21章~26章 Bコース 詩篇31篇~49篇

◇次聖日礼拝奉仕者 [平成26年8月3日] [誕生祝福式]
[司会:赤塚敏郎兄、いのり:持田樹理姉、聖書朗読:平松友子姉]
[ピアノ:片岡立子姉 賛美リード:大神 雄兄

アシスト:大神久美姉、加藤由美子姉

[献金:太田昌子姉・赤塚孝子、受付:下岡晶子姉]

◇PA:平松章治兄

◇週報編集:片岡洋一兄

◇ホームページ編集:大神真伸兄

◇日曜学校:倉知契牧師



キリストは、私たちに愛がわかったのこのちをお捨てになりました。

ヨハネ三の十六(新改訳聖書)

本日は音楽ミサ・ピアノコンサートによるこそおいでくださいました。このコーナーは週替わりのコラム記事です。表題の「土の器」は聖書の一節で、『わたしたちは、この宝を土の器の中に持っている(2コリント4の7)』から引用したのですが、陶器の街・瀬戸市にぴったりです。今日、演奏してくださる尊い器は瀬戸市が生んだ(産んだのはお母様!)ピアニストの川添由梨香さん。愛知県芸術大学ピアノ科を卒業し、ドイツの音楽大学院を首席で卒業、すでに各方面でご活躍されている瀬戸のホープです。ぜひこれからも皆様に応援して戴きたいと思ひます。

川添さんは、ドイツ留学中に何度か、教会でチャペルコンサートをされたと伺いました。ヨーロッパの教会は石造りで、音響も素晴らしいですが、教会堂をひとつの器と考えるなら、「土の器に宝を持っている」とは、どんなチャペルでもそこに宝なる主イエス・キリスト様がいらっしゃるという意味でしょう。作曲家、曲目、演奏家、楽器、そして聴衆との出逢いが、一期一会のコンサートの魅力です。でもそこに見えない「立役者」がいらっしゃることに気付く人は本物です。

ご存知、作曲家ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェンの人生は「悲愴」に満ちていました。宮廷に仕えるテノール歌手だった、横暴でアルコール依存症の父親に、4歳から無理やりピアノを習わされ、子供らしい時期はほとんどなかったようです。11歳から作曲をはじめ有名になり、モーツァルトやハイドンの弟子になりますが、母と父の死、また深い失恋も経験し、彼は生涯独身でした。

28歳から持病の難聴が悪化、ついに音楽家にとっては命とも言える耳が聞こえなくなりました。ものすごい絶望感に襲われ、遺書を残して自死しそうになったほどです。またその他にも持病を抱え、56歳の若さで亡くなりました。そんな彼が40歳のとき、苦悩の中で書いた手紙が残っています。

「私には友がいない。一人ぼっちで生きていかなければならない。だがわかっている。創造主は、誰よりも私の近くにおられるのだ。恐れずに、私は神に近づく。どんなときでも、このお方が私と共にいることがわかる。そして私は、主がどのようなお方かということも知っている」

偉大な器ベートーヴェンも、その器の中に宝を持っていました。今日、皆様に最高の音楽を通して、「人生の宝物」を発見して戴きたいと切に願っています。

瀬戸カルバリーチャペル

倉知 契